

発表No.	テーマ
201	出前授業のCS向上 ～ 楽しく学べる場を目指して ～

会社・事業所名（フリガナ） トヨタジドウシャヒガシニホン カブシキガイシャ トヨタ自動車東日本株式会社	発表者名（フリガナ） シゲタ ユウスケ 繁田 祐介
---	---------------------------------



小学5年生を対象とした出前授業で、
如何に楽しく学んで頂くかを
グループ間の枠を超えた
QCC活動で効果を挙げた事例です。

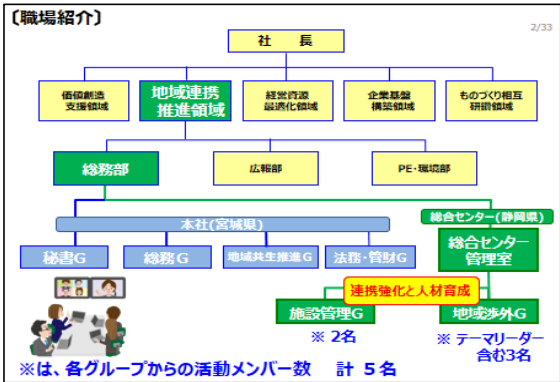


会社概要 本社・国内事業所



はじめに会社概要を説明致します。
弊社はトヨタグループの一翼を担う企業として本社を宮城県大衡村に置き東北を拠点とする各工場ではトヨタのコンパクトカーをはじめエンジンなどの精密部品を生産しています。
東富士地区では、一昨年12月に閉所された東富士工場跡地が、今話題のウーヴンシティに生まれ変わります。そして、私達のサークルが所属する、東富士総合センターと須山工場があります。

【職場紹介】



職場紹介です
総務部は、地域連携推進領域に属しており宮城県の本社と 静岡県の総合センターを拠点としており、今回は 総合センターで横連携強化と人材育成を目的に二つの職場からメンバーを選抜して合同サークルを結成しました。

【職場紹介】



総務部は、社内業務はもとより
各地域との窓口を含む 多岐に渡る業務を担当しています

ＱＣサークル紹介		サ ー ク ル 名		スマイル	
本 部 登 録 番 号	240-626	サ ー ク ル 結 成 時 期	2022 年 8 月		
構 成 人 員	5 名	月 あ た り 会 合 回 数	5 回		
平 均 年 齢	54.8 歳	1 回 あ た り 会 合 時 間	1.5 時間		
最 高 年 齢	61 歳	会 合 は	就業時間内 就業時間外・両方		
最 低 年 齢	48 歳	テ ー マ 暦 ・ 社 外 発 表	1 件 目 ・ 1 回 目		
(所属部署) 総務部 総合センター管理室					

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

1. テーマ選定と取り上げた理由

4/33

上位方針：グループの枠組みを超えてつながる諸活動の推進

佐藤室長の想い
・従来のやり方に拘らず、新しい視点で改善を進める
・混成チームでお互いの仕事を理解し、活動推進してほしい

(マトリックス図によるテーマ選定) 凡例 ○：5点 △：3点 ×：1点

評価項目	必要性				サークルの 実力				総合 評価	順位
	期待 効果	緊急 性	お客様 目線	実現 性	部 方針	固 り 合 合	活 動 期 間			
設備点検業務の工数低減	○	○	○	△	○	○	△	23	2	
社有車の夏冬タイヤ交換時の選別作業効率化	○	○	○	○	○	△	○	21		
出前授業のCS向上	○	○	○	○	○	○	○	27	1	
排水設備の見直しによる経費低減	△	○	○	○	○	○	△	17		

今回の活動は、『出前授業のCS向上』
～楽しく学べる場を目指して～に決定！

取り上げた理由として
上位方針に沿ったかたちで困り事を両職場のメンバーから
挙げてもらいマトリックス図で評価した結果、出前授業のCS向上
に決めました

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

5/33

誰にでも説明できる・現状を洗い出す中で、問題点を見つける為に物と情報の流れ図作成

未経験者からの質問が
あけられず不安の
気付きにつながった

不安な項目がいっぱい！

以前、手伝ってくれた
人にも不安項目を
ヒアリング

【出前授業 不安項目 パレート図】

項目	割合 (%)
講師役	43.8%
教材準備	25.0%
教材内容	18.8%
演習面	12.4%

2022/10/07
作成：藤又
(流石、2022年9月)

まずは、担当者を増やすために、誰にでも説明できるよう現状を整理。
物と情報のながれ図で 関係者・対応タイミング・対応内容等を素人目線での
ワイガヤを含めて作成
更に、授業を手伝ってくれた人からもヒアリング上がった不安な事 を
パレート図で整理・優先順位付けをしたところ、
やはり、未経験で講師役を行う際、質問に答えられるか 等の
講師役に関する不安が7件と TOPでした

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

6/33

目標値の設定

今回は、目標値の根拠が
ハッキリしないね

運営側の不安が減る事と
お客様の満足度が上がる事が
関連付け出来れば
ネ...

運営側に不安があれば、
お客様の満足につながらない
まずは、第一歩踏み出そう！

今は、小学校からの
お礼の手紙と比較
するものが無いね

お礼の手紙で満足度
を計るのは違うし
目標値にも出来ないね

目標値の設定では、
今回、元となるデータが学校からのお礼のお手紙が無く
メンバーからも お礼の手紙をお客様の満足度と捉えるのは違うネ 等の
声があり、QC的ではありませんが、お客様ベースで考えた運営側の不安を
減らせばお客様にも満足頂ける と考え勢いではありますが、まずは
第一歩として半減という数字を設定しました

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

5/33

2. 現状把握

<出前授業とは> 東富士工場閉鎖に伴い工場見学の後継としての 地域貢献活動
・内容：小学5年生の社会科授業の補正として依頼を受けた
学校を訪問して自動車製造について授業を行う

◆ 2021年度 目標・実績 (出前授業 元年)
・目標：40校 (部方針)
・実績：28校 但し、授業数は54回 (45分授業/クラス)

<2021年度の活動内容>
・講師担当：芹澤と繁田の2名
・教育内容：製造ビデオ視聴 ⇒ 保護具説明
⇒ 保護具と工具実物に触れる ⇒ 質疑対応

担当 2名

<振り返りと想い>
・子供達にもっと楽しく体験型も含めて自動車製造について学んでもらいたい
・2022年度の目標 4市3町 67校 に向けて担当増員と内容見直しをしたい！
(2022年度目標値は、部方針)

出前授業とは、東富士工場閉鎖に伴い工場見学の後継の 地域貢献活動
として、小学校に教材を持参して自動車製造について授業を行う活動です
2021年度は、目標40校 に対して 28校でしたが、授業数は54回を実施しました
内容としては、講師役2名で製造ビデオ視聴や保護具・工具の触手 質疑応答で
終了です
振り返りと想いとして 子供達にもっと楽しく 体験型も含めて学んでもらいたい
また、2022年度の部方針からもこの活動を更に広げる
という事で 担当者の増員や授業内容の見直しを 図りたい というのが現状です

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

7/33

3. 目標・計画

活動スローガン
目指せ記憶に残る出前授業！

何を	いつまでに	どうする
出前授業における不安件数	2023年1月末	不安件数を半減 16件 ⇒ 8件

活動計画・実績 カントチャート 計画 → 実績 →

ステップ	テーマリーダー：繁田	9月	10月	11月	12月	1月
テーマ選定	繁田 (仲川)	→				
目標設定	繁田 (加藤)	→				
活動計画	仲川 (藤又)	→				
現状調査	東 (繁田)	→	→	→	→	→
要因解析	繁田 (加藤)	→	→	→	→	→
対策立案・実施	加藤 (東)	→	→	→	→	→
効果確認	藤又 (仲川)	→	→	→	→	→
標準化と廃止	仲川 (繁田)	→	→	→	→	→

目標と計画です
出前授業における不安件数 を 2023年1月 末までに 半減の8件にする
とし、活動スローガンを「目指せ記憶に残る出前授業」とし、
ステップ毎にリーダーとサブリーダーを設定して活動に入りました

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

9/33

【特性要因図による要因解析】

活動目的の一つ：特性要因図をマスターする

出前授業に不安がある

① 教育アイテムが少ない(お客様用)
② 備品運搬が多い
③ 講師に経験が必要

TQM推進室から特性要因図の振り返り教育を受け
皆でワイガヤ要因解析を行い
多くの要因の中から 3点を重要要因と仮定して検証に入りました

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

重要要因の検証 ①教育アイテムが少ない（お客様用）

10/33

◆ビデオ（視聴） ◆作業者の服装（触手・着用） ◆使用工具（触手）

（車ができるまで／車づくりの工夫） （安全に作業を行うために） （大きさ、重さを体験）

リアルさ

・実際の工場見学のように車ができるまで（ライン作業）について上手く伝わっていない
・きつ、タクトタイム（決められた時間）で作業が行われている事が理解できていない？

車用要因確定

車づくりの流れは理解できても、実際のライン作業やボカヨクがどのようなものなのか？が理解できない（分からない）

7

検証1 教育アイテムが少ない

これら3つの教育アイテムで出前授業元年は実施しましたが今までは工場見学でリアルに感じてもらえた決められた時間内で作業を完結する事やボカヨク等のライン作業のリアルが分かってもらえないという事で重要要因と確定しました

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

重要要因の検証 ③講師に経験が必要

12/33

◆質問集（生徒からの質問時に回答）
＜東富士工場の工場見学担当者から継承＞

年季が入っています!!
全45頁

あの人に質問しても分からないらしいよ!

・分からない事を聞かれないか不安
・小学生への接し方が不安

車用要因確定

質問集はあるけど、経験や知識がないと、なかなか答えられない

9

検証3 講師に経験が必要

工場見学で使っていた 質問集や他拠点の質問集も横展しましたが手伝ってもらった事のある人からも経験が無いと答えるのが難しい や接し方が不安 との声もあり重要要因と確定しました

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

備品運搬道具・方法の改善

14/33

（マトリックス図による順位付け） 凡例 ◎：5点 ○：3点 △：1点 ×：0点 25点以上を採用

評価項目	必要性				サークルの実力		総合評価	順位
	期待効果	緊急性	お客様目線	費用	安全性	活動時間		
運搬方法候補								
収納BOXの持ち手を取り換え、持ちやすくする	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	27 2
収納BOX収納荷を男性、女性用に区分け（男性：20kg未満、女性：12kg未満）	◎	◎	○	○	△	◎	◎	27 2
収納BOXに重量を明示し、担当分け	○	△	△	○	◎	◎	◎	21
20kg以上の荷は二人作業で行う	△	△	×	△	×	◎	◎	13
保護員関係（軽便物）は、小分けして手掘り運搬	○	○	○	○	△	◎	◎	23
手で持つ運搬から、背負う運搬へ変更	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	33 1
階段昇降時は、そのようなもので滑らせて運搬	△	△	×	×	×	◎	◎	15
階段昇降時の運搬は、クローラー付き台車を使用	◎	△	△	△	×	×	×	12
担架の形式で二人作業で運搬	△	△	△	△	△	△	△	14
引越し業者形式で運搬ベルト（ショルダー）を使用	△	△	△	△	△	△	△	13

11

対策立案時に備品運搬に関しては、色々意見が上がったので更にワイガヤを行い 今回実施する対策を決めました

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

重要要因の検証 ②備品運搬が多い

11/33

◆運搬の様子

▲学校駐車場から校舎へ運搬 ▲下履きから上履きへ ▲階段で1F→4Fに運搬

▲学校駐車場で校舎内への荷の運搬が遠い（6箱を運搬）
・教室が3Fもしくは4Fで、運搬が大変
・女性が運搬するのはキツイ（10～20kg/箱）
・片付け、荷下ろしも大変

▲体験後の片付けと撤収

▲階段で4F→1F荷の運搬 ▲車への荷出し入れ（女性にはキツイ！）

車用要因確定

安全に効率よく運搬できていない

8

検証2、備品運搬が多い。

学校駐車場から、校舎へ運搬⇒下履きから、上履きへの履き替え⇒階段で1階から、4階へ運搬⇒体験後の片付けと撤収⇒階段で4Fから、1Fへ運搬⇒最後に、車へ荷の積み込み。

これらを出前授業元年は、2名で実施していた為、効率的に出来ておらず、また、運搬中のヒヤリもあり、重要要因と確定しました。

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

系統図+マトリックス図による対策立案

13/33

10点以上を採用

（基本目的） 出前授業の不安を無くす

（二次手段）

- 体験型アイテム
 - からゆき実演
 - フローハーネス見本（体験版）
 - バーチャル工場見学
 - ポイント書留
 - 簡易版ビデオ作成
 - 学校側と調整（45分⇒90分）
 - カリキュラムのパターン化
 - 会場調整（4F⇒1F）
 - 運搬道具の改善
 - 質問集整備
 - QJT内容の改善
 - 講師育成時の手配決め
 - 他チーム応援依頼
- 伝えるアイテム
- 教育時間調整
- 備品運搬方法の改善
 - 運搬の省力化
 - 経験不足でも出来る
 - 人数を増やす
- 講師育成方法の改善

今後、優先順位をつけて計画的に改善していく

10

出前授業の不安を無くす を基本目的にみんなで系統図とマトリックス図法を使って対策の立案を行い5つの対策案を実施する事にしました

テーマ選定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

【対策実施計画 ガントチャート】

15/33

No	対策項目	担当者	11/28 ～12/2	12/5 ～12/9	12/12 ～12/16	12/19 ～12/23	12/23 ～12/28	1/9 ～1/13
1	運搬道具・方法の改善案作成	加藤	●					
	・メンバーと共有する	加藤	●					
	・メンバーの意見取り上げ、方向性決定	仲川		●				
	・メンバーで改善実施	加藤		●				
	・出前授業時にトライ実施	東		●				
2	フローハーネスの見本（体験版）の製作	東	●					
	・子供向けを伝えたいメンバーで共有	加藤	●					
	・出前授業時、体験版機種のトライ実施	加藤		●				
	・トライ実施後、改良提案と改良実施	東		●				
3	質問集の整備	仲川	●					
	・メンバーと共有	加藤	●					
	・出前授業時にトライ（質問時に検索）実施	加藤		●				
	・トライ実施後、改良提案と改良実施	仲川		●				
4	カリキュラムのパターン化	加藤	●					
	・ガネキラムのトライ実施（アンケート実施含む）	仲川		●				
5	教育体制の整備	仲川	●					
	・アイテム作成とQJT実施（アンケート実施含む）	加藤		●				

12

やる事は決まったので各対策を効率的に進められるように実施計画と各対策のリーダーを決めて共有しました

テーマ選定	現状把握	目標・計画	要因解析	対策立案	対策実施	効果確認	標準化と管理	反省と今後
安全第一を考慮し、無理のない運搬へ 改めて作業を確認 ・荷が肩からズレ落ちるリスク ・両手が使えない状態 持ちにくい・重い (滑って落下リスク大) ・足元が見えない (踏み外して転倒、落下リスクあり)								

改めて運搬作業を確認して安全面での不安を
具体的に把握して対策に進む事にしました

テーマ選定	現状把握	目標・計画	要因解析	対策立案	対策実施	効果確認	標準化と管理	反省と今後
【対策1：運搬道具・方法の見直し】 <STEP1> 教材収納BOXのグリップ部改善 (運搬時の安全性向上) 持ち手部分が浅くてしっかり握れない グリップ部くり抜きとヤスリ掛け 6箱 加藤さんと勝又さん ポリ製に穴あけで苦戦! 仲川さんもヤスリ掛けお手伝い 持ちやすさは格段に向上!! But !! 足元が見えない リスクは変わらない								

安全対策で 教材収納BOX改善です
現状、指の第1関節までしかつかめない為、持ち手部分をくり抜いて
しっかりと握れるようにしました。
ポリ製なので、予想外に穴が開けにくく加藤さん・勝又さん・仲川さんが
苦戦しながら進めてくれました。これにより、持ちやすさは格段に向上しましたが
BOXを持った時に足元が見えないリスクは変わりません

テーマ選定	現状把握	目標・計画	要因解析	対策立案	対策実施	効果確認	標準化と管理	反省と今後
<STEP2> 手を持つ運搬をやめて、背負う運搬へ変更 荷物を背負えば足元も見えね 両手も空いて階段の手すりも握める 前年のトライでNGだった台車を解体してリックを取り付け 工具類もあるから底がしっかりしていないとネ 背負った時のバランスや補強で改良4回 ・背負う事で重さ感が軽減 ・片手が空いて袋を持てる ・足元が見える ・手すりを持てる メンバーのお母様も協力 背負うだけで4つのメリット								

第1ステップで残ったリスクに対してワイガヤを行い単純ですが、
荷物を背負うという発想に着目して検討し、前年にトライNGだった
台車の一部を解体再利用し、リックを組み合わせて背負子を作成
結果、4つのメリットが生まれました。対策自体は平凡ですが、
実現にはバランスや補強等知恵と工夫が必要でした

テーマ選定	現状把握	目標・計画	要因解析	対策立案	対策実施	効果確認	標準化と管理	反省と今後
<STEP3> 背負子数不足のため、収納BOXを有効活用 背負子は一つなので残り5箱分はどうするか (10~15kg/箱) ・費用をかけてあと5個作成するか? (約10千円 × 5個) ・6個のBOXは、お払い箱? 皆で悩んでいると突然、仲川さんが箱固定用のバンドを箱の取手に引掛けて担いでいた BOX固定用フック付きバンド ※ 背負子1号に工具類をいれて箱は軽くてかさ張る物を入れ 軽い... ・足元視界ヨシ! ・片手空き ヨシ!								

遊休品で作った背負子は 一つ 残りの5箱分はどうするか?
費用5万円を追加して背負子を5個作成するか?
6個のBOXは、お払い箱か? 検討している仲川さんが、BOX固定用の
フック付きバンドをSTEP1で改善したBOXに引掛けて担いで 軽い と言
足元も見えて片手も空いた状態で運搬が可能になりました

テーマ選定	現状把握	目標・計画	要因解析	対策立案	対策実施	効果確認	標準化と管理	反省と今後
【対策2：ビデオからは伝わらない“リアルさ”対策】 <STEP1> 実車 1/4 フロア配線模型製作 実車のワイヤーハーネスを使って見られる模型がいいね 実際にメーター等に端子を繋いで組立を体験してもらおう ② 東さんと勝又さん中心に模型製作開始 部品が足りない 本社地区 開発部門 アドバイザーチームが部品調達に立ち上がり各拠点から調達!								

ビデオからは、伝わらない リアルさ 対策で施設管理グループの
東さんから 実車のワイヤーハーネスを使ってフロアの配線模型
作成案が出て元組立の勝又さんからもメーターとかもつけて端子の
結線も体験してもらえば?との案も出て早速、イメージ図と必用部品の
洗出しを行い直ぐに手に入る部品とダンブラーを使って製作に入りました
ところが、端子やランプ等の部品が足りなくなりアドバイザーに相談した
ところ、各拠点のつてを使って必要部品を集めて提供してくれました

テーマ選定	現状把握	目標・計画	要因解析	対策立案	対策実施	効果確認	標準化と管理	反省と今後
【対策2：ビデオからは伝わらない“リアルさ”対策】 他部署の理解による協力とメンバーの努力で 完成!! メーター・ハンドル 時間(タクト)内に6カ所を正しく結線するとランプ点灯ゲーム性も織り込んだ教材 メインハーネス(実物) 拡大したフロア写真 ダンブラー ○: 結線 6カ所 二つ折りで持ち運び可能								

他部署の方のご理解ご協力とメンバーの努力で フロア配線模型が
完成時間内に 6カ所を正しくつなぐとランプが点灯するという少しゲーム性も
織り込んだ教材にしましたまた、二つ折りで持ち運びにも楽になりました

テーマ決定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

【対策2：ビデオからは伝わらない“リアルさ”対策】 22/33

<STEP2> 他部署の小学生の子供が居るママさん達から意見収集

子供が誤ってケガをしそうな部分は無いが、安全面を含めて見て触って体験して、感じた事・気づいた事をヒアリング

結束バンドの切り口が、出っ張らない様に気を使っていたので安心しました

指示書をイメージしたものも必要かもネ

部品の取出しからスタートだとよりリアルですネ

そもそも何をどこにつなぐかが分からないですネ

抜けてた……

初めての人には“そもそも何をどこにつなぐか”が分からない事が当たり前 ⇒ 配線とつながる場所に同じ記号を追加表記

次に他部署の 小学生の子供が居るママさん達に集まって頂き実際に触って体験してもらい 安全面も含めたヒアリングを実施しました

色々な意見を頂き、特に もともと何をどこにつなぐかが分からないと言われた時には、確かにそーだと啞然としてしまい 早速対策を実施しました

安全面での指摘は無かったので、ヒアリング結果を反映させて初号機としました

テーマ決定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

【対策3：質問集の整備】 安心して質問に答えられる 23/33

<STEP1> 質問集のバージョンアップ（ノウハウ含む）

解答にベテランのサポートが必要だった質問等を共有

東富士工場版質問集 + 解答にベテランのサポートが必要だった質問等を共有 = バージョンアップ版

◇車を生産する中で、1番難しいことは？
◇アンドン：工具と人の線の違いは？
◇車のシンボルマークの由来について？
◇その他、車づくり以外の質問
☆生徒に対するノウハウ 等々

<STEP2> 更に本社・大衡工場の質問集も提供頂いて整理統合・共有

総合センターバージョンアップ版 + 本社地区版質問集 = 最新版 質問集

ご提供ありがとうございました

本社地区と共有

一番の不安材料 質問対応です

東富士工場で使用していた質問集に 追加の質問や生徒さん対応のノウハウを載せてバージョンアップしました

更に、本社地区の工場見学質問集を頂き 内容を整理統合したものを本社地区にも共有させて頂きました

テーマ決定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

【対策3：質問集の整備】 24/33

<STEP3> 増員予定の講師にOJT（模擬授業）開催

室員と職制が生徒役に質問集を基にイジワル質問

杉山さん作

これで安心任せて！！

スネ夫役：佐藤室長

ジャイアン役：山田GM

楽しく鍛えられて自信が付きまして！

STEP3です

バージョンアップした質問集を基に増員予定の講師担当者を対象に室員と職制が生徒役になり、OJTを実施

生徒役も、子供に成りきって 実のあるOJTになり、講師担当も楽しく自信が付きまして

テーマ決定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

【対策4：講師育成手順のパターン化】 25/33

<STEP1> 自主学習の実施

①要領書と質問集確認 ②ビデオ視聴と説明ポイント確認

要領書 + ビデオ説明ポイントマニュアル

工場見学教材ビデオ

<STEP2> 授業ビデオで雰囲気把握

数校の授業ビデオを視聴して生徒さんの反応や話し方のパターンを掴んで 心の準備

今まで、経験者のみに対応してきた為、講師育成はOJTのみで行ってきた為、育成アイテムと教育手順をパターン化してマニュアルに落とし込みました

テーマ決定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

【対策5：カリキュラムのパターン化】 26/33

授業後、生徒・先生からのお手紙を頂戴する

自分達としては、1時限（45分）という壁を取りたい

本当は、もっと丁寧に伝えたい

45分では厳しいネ

合1時限（45分）スケジュール

・車に興味を持てました
・教科書に載っていない事が聞けた

あくまでも、“お礼”であって本音や満足度イコールではない

悩んでいても変わらないので先生に聞いてみよう！

授業を行うと生徒さん達から手紙を頂きます

ただこれは、あくまでも お礼、であって本音や満足度 イコール ではないという風に取り自分達としては、もっと丁寧に伝えたいという想いで1時限は 45分 という壁が立っていましたがメンバーから「悩んでいても変わらないから先生に聞いてみよう」という事になり

テーマ決定 現状把握 目標・計画 要因解析 対策立案 対策実施 効果確認 標準化と管理 反省と今後

【対策5：カリキュラムのパターン化】 27/33

<STEP1> 先生方にアンケート実施

今期、授業を行った26校の先生に 内容・時間等についてアンケート送付

アンケート送付に関しては集計作業も考慮して菊地原STからFormsの教育を受けて使い方を全員がマスター

<STEP2> アンケート結果反映

・今期が出前授業元年だったので先生からの内容リクエストは無かった
・2時限使ってもよい学校も10/26校アリ

ここでトラブル

どの学校も先生毎のメールアドレスが無い

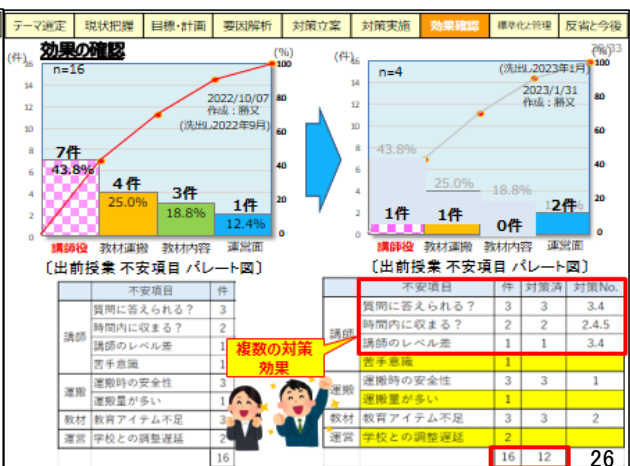
学校宛のアドレスに送付する為、先生が見て返信して頂くまでの時間が予定より掛かってしまった

2時限カリキュラムを作成してパターン化

授業に行った 26校の先生方に内容・時間についてアンケートを実施。アンケートを送付するにあたり、集計工数も考えてアンケート集計システムを使う為にメンバー全員で教育を受けて実施しました。ここまで順調でしたが、どの学校も先生毎のメールアドレスが無く、学校宛になる為、担当の先生が見て返信して頂くまでに予定より時間が掛かってしまいました。アンケート結果ですが、出前授業元年という事もあり、先生方から内容リクエストはありませんでした。また、私たちが望んでいた2時限使っても良い学校が10校あり、早速2時限カリキュラムを作成してパターン化しトライする事にしました



学校の許可があり
2時限パターンを試行
配線体験ボードもデビュー
子供達も楽しく学んでくれました
担任の先生からも1時限バージョンより
記憶に残りますネ コメントを頂きました



効果の確認です
5つの対策が効果を挙げて
不安件数 16件の内 12件が 複数対策での効果も含んで
解決できました



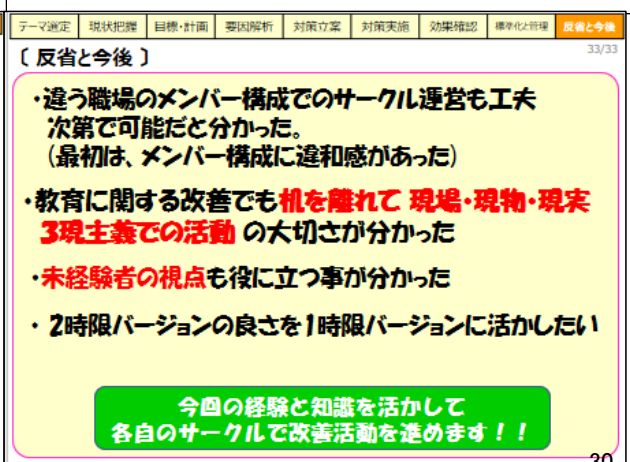
結果として
出前授業における不安件数 16件を 4件 75%減と
目標を上回る結果となりました
但し、苦手意識 という肝の課題は残りでしたが
チームワークで解決していきます



標準化と管理の定着では5W1Hで 決めて
改善が後戻りしない様に歯止めを掛けました



反省と今後ですが その前に
今回の活動では 6職場 23名 という大変多くの方々にご理解頂き
多くのご協力を頂きました
メンバー全員で 感謝しております



色々和向きなコメントが上がりましたが、
机を離れて 現場・現物・現実 3現主義で活動する事の大切さが分かりました
今後は、各自のサークルに戻って今回の活動を活かしたいと思います
また、2時限バージョンの良さを1時限バージョンに活かします
ご清聴ありがとうございました